

4月 如月、2011年3月11日(平成23年)午後2時46分 東日本大地震から 一年一カ月が経過。平時から緊急時に備えておく“事”は必至で、我々医療人の集まり 三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)と 地方自治・地域支援病院等が「事が起こった際 “事が動き・成される状況までの確認”」これを平時に成す事。当然の帰結であります。

“榛南の医療情勢”は危惧すべき状況下。私は 何度にも亘り “話し合い・交渉事の無い 榛原医師会”に対し 訂正・校正を求めて来た。昨年 平成23年3月28日 榛原医師会 吉田・榛原連絡協議会を最初に 何度にも亘り “言”で “書”で 「 のヨウ化カリウムの扱いについて」 会長 高木平氏に “確”と伝えるが「地方自治トップと話される」との約束不履行。更に 昨年年末 平成23年11月28日 臨時総会での答弁 その後の状況、本号【康寿診報167号 P1】に於いて 報告した。

また わが町 吉田町町長 田村典彦氏、何度もアクセスするが面談も受け入れない状況。これが 数年来続いている。本号【康寿診報167号 P1】は 田村典彦氏 榛原医師会長 高木平氏 はじめ 前以て事実の確認をお願いし 目を通していただいた上で発行しているが 事が動かない。今後は 町長 そして行政担当部署に 過去の書面を再提示等した上 処していただけるよう 段取りを付け 行動しようと考えている。

3月下旬 お袋 雅子が 大切な娘一家 そして初孫に “意地張を認め 殻を破れ”と云わんばかりに 大きな力付けを成した。更に 息子 加藤 寿夫に “書” “言” を含め 己の“力”で事を成せ、「己の“責”で物云いなさい」「独立の時 己を信じる事」と、最後の“雅寿の文言”を残し、昇って 逝った。笑い泣きをし 見送った。

当面、上の組織 己以外を 頼る事無く、多くの交流 特に自分にとって Negativen な批判的な声を聞き容れながら 「“書”を持ち 自己そして“事”の真相・真義[真偽]を 掘り起こす作業」これを継続する。

Jリーグ ジュビロ磐田 森下仁志監督の下 上位で首位も狙える位置、強いというより “負けないジュビロ” 期待します。また J1 札幌 44歳 ゴン 中山雅史 “ピッチでの雄姿” 待ってます。

康寿診報 167号 送らせて頂きます。

平成24年4月11日 加藤^{カトウ}寿^ス夫^フ 通称: 寿(=寿実寿美)

裏面は「雅寿の文言 ④①～④⑥」を 提示します。

ホームページが新しくなりました。 <http://www.katoiin.jp> ぜひご覧ください。